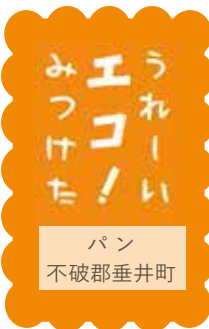


のびやかな雰囲気のあるこの地に、 匂い立つベーカリー。

このベーカリーショップのWebサイトは、楽しいイラストが散りばめられていて、まるでおとぎ話の国に来たような気分になる。伊吹山の麓にひろがる敷地内には、南欧の農村を思わせるような店舗やカフェ、ファクトリー、石窯工房、アトリエ、ファームが点在。実際訪れてみても、その感想は変わらないよ。



店内はパンの香ばしい香りに満ちている。素材の質にこだわったものづくりが自慢という店舗スタッフの鞆飼さん。

★毎月12日は「パンの森の日」。
垂井町本店では新作試食会があるんだよ。



古民家を再生した建物やフランス風の建物もある。雰囲気を楽しみながら、ガーデンの散歩を楽しめる。

石窯工房では、間伐材を積極的に薪として活用し、森林保護に貢献。



定期開催されるパン教室は好評。子供向けの体験的なものから石窯で焼く本格的な教室まで幅広い。



スタッフやお客様で切り盛りしているグルマンファームでは、ランチやスイーツで使用する果物・野菜を栽培。

グルマンマルセ株式会社

〒503-2124 岐阜県不破郡垂井町宮代 441

TEL:(0584)23-2400(代)

パンの森 グルマンヴィタル

営業時間 8:00 ~ 18:00(毎週火休)

(株)マルセパンは、グルマンマルセの親会社。地域に根差したパン工場として、町内や近隣の学校にパンを供給するほか、生協の意見を取り入れたパン作りを展開。



----- エコツターは、広く皆さまに親しまれる冊子をめざし、リニューアルしました。-----



平成27年11月発行

発行：エコムカワムラ株式会社 岐阜県安八郡輪之内町里85番地の3

TEL 0584-68-2033 (代)

制作：Ishii Design TEL&FAX：042-973-4004 mail@ishii-design.info

※表紙のイラストは「廃材」を使用しています。今月は「アスファルトがら」で「バルディア」をつくりました。《再生紙を使用》



エコツター

48

エコムつうしん 48号 -11月号-

ECO エネルギー

- ここが知りたい！エコムちゃん
「小水力発電」
- うれしいエコ！みつけた「パン」

「エコツター」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。



エコムちゃん



ここが知りたい!
エコムちゃん

学ぶ

遊ぶ

働く

ECOエネルギー

太古の昔、人類の祖先は火と出会うことによって、
数多(あまた)の他の動物とは違う道を歩み始めた。

どれだけの月日が流れたかは、ここでは触れないけれど、
私たち人間は火の使用により

照明や暖を取る、獣から身を守る、食物に火を通すなど多くの利益を得たんだ。

さらに、化石燃料をもとにした産業革命が起こるなど、
火が存在しなければ、近代文明の進歩はありえなかった。

ところが、その後の過剰なエネルギー消費は、
化石燃料の枯渇危機や大気汚染、さらには地球温暖化など、
さまざまな問題を引き起こす。

環境保全とエネルギー消費のバランスは、
人類の重要な課題になったの。

待たなして推進されようとしているのが、
太陽光や、水力、風力、地熱、海洋などの自然エネルギーや、
バイオマス、廃棄物熱、燃料電池などの新エネルギーの
活用だね。

今世紀、「エコ」という言葉が盛んに使われているのは、
こうした背景があるからなんだ。



ご当地発電

地域ごとに発電を行うことで、
電力の地産地消を進めようという
取り組み。地域の自立につ
ながることや送電コストやム
ダを減らすなどのメリットが
あります。東日本大震災での原
発事故以降、注目を集め、2014
年、地方自治体、企業、生活協同
組合、金融機関、政策研究所、大
学教授、さまざまな団体・個人
が発起人となった「全国ご当地
エネルギー協会」が立ち上がっ
ています。



水が流れるところに 小水力発電

自然エネルギーといえば、太陽光発電や
風力発電に注目が集まりがちだけど、身近
なエネルギーである水力発電も見逃しては
いけないね。何と云っても、岐阜県は「清流
の国」。小水力発電が可能なポイントが
1600か所もあるらしく、その規模は全国トッ
プなんだって… 豊かな水資源を利用し、
方々で小水力発電に取り組んでいるなか、
地域一体となって取り組んでいる中津川市
の例を紹介するよ。



電力の地産地消なんだね



馬籠宿小水力発電1号機



◎加子母清流発電所

山沿いを流れる農業用水路を活用
した小水力発電で、65メートルの
落差を使って220kWを発電。年
間の発電量は168万kWhを見込
んでおり、一般家庭400世帯以上
が使用する電力を供給できる。



◎馬籠宿小水力発電

既存の水車を利用した1号機と
用水の下流部に自然落差を利用し
た2号機。発電出力は約0.5kwで、
水車小屋のライトアップ、室内照
明、常夜灯、ディスプレイの電力に
使用している。

中津川 THE SOLAR BUDOUKAN



中津川市は太陽光発電も盛ん。
使用する電力を太陽光発電でま
かなう。ロックフェスが、2015年
も実施され、泉谷しげる、藤井フ
ミヤ、吉川晃司、斉藤和義らのパ
フォーマンスで盛り上がった。

発展!

発電を起点にまちづくり

落合平石地区では、大正時代につくられた歴史のある農業用水
路の一部を発電用導水路として活用する計画がある。発電設備
を整備しながら、水路の改修を同時に行えるのが特徴。今後は、
発電所も含めた地域固有の観光資源を活かした観光や、森林資
源を活用した木質バイオマス事業、防災対策や獣害対策の促進
など、総合的なまちづくりへと発展させていこうとしている。

小さな発電だけど、
地域が盛り上がる
きっかけを作っ
ているんだね!

